平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月28日

上場会社名　株式会社 ニフコ　　上場取引所　東
コード番号　7988　URL　http://www.nifco.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 小野寺　優
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長　(氏名) 本多　純二　TEL 03-5476-4850
四半期報告書提出予定日　平成23年8月9日
配当支払開始予定日　—
四半期決算補足説明資料作成の有無　:　無
四半期決算説明会開催の有無　:　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	26,980	△8.3	2,385	△27.8	2,209	△29.9	1,076	△50.3
23年3月期第1四半期	29,428	32.6	3,305	—	3,149	—	2,163	—

(注)包括利益　24年3月期第1四半期　2,432百万円　(△10.3%)　23年3月期第1四半期　2,711百万円　(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	20.14	20.13
23年3月期第1四半期	40.57	40.55

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	126,528	82,334	63.0	1,491.12
23年3月期	127,925	81,439	61.6	1,473.85

(参考) 自己資本　24年3月期第1四半期　79,687百万円　23年3月期　78,755百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	20.00	—	25.00	45.00
24年3月期	—				
24年3月期(予想)		20.00	—	20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　:　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	53,000	△12.7	3,500	△51.4	3,300	△51.5	2,000	△56.1	37.43
通期	115,000	△4.6	10,000	△23.7	9,500	△24.2	6,000	△20.3	112.29

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　:　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

新規 ―社 （社名） 、 除外 ―社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

（注）詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報（その他）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無

② ①以外の会計方針の変更 ： 無

③ 会計上の見積りの変更 ： 無

④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期1Q	53,754,477 株	23年3月期	53,754,477 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	313,138 株	23年3月期	319,126 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期1Q	53,436,848 株	23年3月期1Q	53,335,628 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、（添付資料）2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益及び包括利益計算書 …… 6
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 7
（４）セグメント情報等 …… 7
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間のわが国経済は、平成23年３月11日に発生した東日本大震災により、サプライチェーンの寸断等による日系自動車メーカーの稼働率の低下や、その後の電力不足、為替の動向など不透明な状況が続きました。

海外では、韓国自動車メーカーを始め海外自動車メーカーは順調に推移したものの、国内では日系自動車メーカーの生産台数が前年同期比３割を超える減少が見られました。

このような状況のなか、当社グループの当第１四半期連結累計期間の連結売上高は、前年同期比8.3％減の269億８千万円となりました。

一方、利益面では、原価低減活動を推進したものの、売上高の減少に伴う利益減により、連結営業利益は前年同期比27.8％減の23億８千５百万円となりました。連結経常利益は前年同期比29.9％減の22億９百万円となり、連結四半期純利益は操業度低下による特別損失の計上もあり前年同期比50.3％減の10億７千６百万円となりました。

①合成樹脂成形品事業

合成樹脂成形品事業は、韓国を始め、タイ、北米、欧州など海外では順調に推移しましたが、一方、国内では日系自動車メーカーの稼働低下の影響を受けました。

この結果、当第１四半期連結累計期間の合成樹脂成形品事業の売上高は前年同期比10.0％減の229億７千５百万円となりました。営業利益も、販売の減少に伴う利益減により、前年同期比25.1％減の29億７千９百万円となりました。

②ベッド及び家具事業

ベッド及び家具事業は、高級ベッドとしてのブランド戦略が奏功し、国内で順調に推移しアジアにおいても総じて堅調に推移しました。この結果、当第１四半期連結累計期間のベッド及び家具事業の売上高は前年同期比2.3％増の34億３千２百万円となりました。営業利益につきましては、工場の稼働率の向上および経費の節減もあり、前年同期比20.2％増の３億７千８百万円となりました。

③その他の事業

その他の事業は主に新聞及び出版事業であります。当第１四半期連結累計期間のその他の事業の売上高は、出版事業の販売が伸びたこともあり、前年同期比7.5％増の５億７千２百万円となりました。営業損失は５千６百万円（前年同期の営業損失９千３百万円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産・負債及び純資産の状況

当第１四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ13億９千７百万円減少して、1,265億２千８百万円となりました。主な減少要因は、有形固定資産の増加13億９千３百万円があったものの現金及び預金が32億１百万円減少したことなどによるものであります。

当第１四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ22億９千２百万円減少し441億９千４百万円となりました。主な減少要因は、取引の減少に伴い支払手形及び買掛金の減少14億８千４百万円および法人税等の支払等により未払法人税等が９億１千３百万円減少したことによるものであります。

当第１四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ８億９千４百万円増加し823億３千４百万円となりました。主な増加要因は、為替の円安により為替換算調整勘定が12億７百万円増加したことによるのであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成23年６月23日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

１ たな卸資産の評価方法

四半期連結会計期間末におけるたな卸高の算出に関して、実地たな卸を省略し前連結会計期間年度末の実地たな卸高を基礎として、合理的な方法により算出する方法によっております。また、たな卸資産の簿価切下げについては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

２ 固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

３ 繰延税金資産及び負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められた場合に、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②特有の会計処理の適用

税金費用の計上基準等

税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	39,228	36,026
受取手形及び売掛金	23,052	22,645
有価証券	3,879	5,295
商品及び製品	6,780	6,867
仕掛品	1,526	1,364
原材料及び貯蔵品	2,666	2,866
繰延税金資産	829	1,149
その他	2,646	3,097
貸倒引当金	△65	△74
流動資産合計	80,543	79,238
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,814	13,585
機械装置及び運搬具（純額）	5,084	5,376
金型（純額）	2,249	2,433
工具、器具及び備品（純額）	1,865	1,918
土地	12,726	12,932
建設仮勘定	2,972	2,850
その他（純額）	169	178
有形固定資産合計	37,882	39,276
無形固定資産		
のれん	324	353
その他	544	503
無形固定資産合計	869	857
投資その他の資産		
投資有価証券	6,847	5,395
繰延税金資産	649	600
その他	1,349	1,367
貸倒引当金	△217	△209
投資その他の資産合計	8,629	7,155
固定資産合計	47,381	47,289
資産合計	127,925	126,528

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,219	10,734
未払金	2,004	1,763
未払法人税等	1,844	931
繰延税金負債	157	1
賞与引当金	1,263	1,866
その他	6,022	6,168
流動負債合計	23,512	21,466
固定負債		
社債	15,000	15,000
長期借入金	5,255	4,633
繰延税金負債	544	849
退職給付引当金	1,756	1,839
その他	416	405
固定負債合計	22,973	22,727
負債合計	46,486	44,194
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,290	7,290
資本剰余金	11,651	11,651
利益剰余金	70,263	70,000
自己株式	△748	△734
株主資本合計	88,456	88,207
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	213	187
土地再評価差額金	△79	△79
為替換算調整勘定	△9,835	△8,628
その他の包括利益累計額合計	△9,701	△8,520
少数株主持分	2,683	2,646
純資産合計	81,439	82,334
負債純資産合計	127,925	126,528

（２）四半期連結損益及び包括利益計算書
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
売上高	29,428	26,980
売上原価	19,761	18,239
売上総利益	9,666	8,741
販売費及び一般管理費	6,361	6,355
営業利益	3,305	2,385
営業外収益		
受取利息	61	69
持分法による投資利益	59	－
その他	102	102
営業外収益合計	223	171
営業外費用		
支払利息	76	76
為替差損	250	188
その他	52	83
営業外費用合計	379	348
経常利益	3,149	2,209
特別利益		
投資有価証券売却益	－	3
固定資産売却益	24	3
その他	3	1
特別利益合計	27	7
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	19	－
環境対策費	14	－
震災に伴う操業度差異	－	505
その他	33	6
特別損失合計	66	511
税金等調整前四半期純利益	3,110	1,705
法人税等	808	469
少数株主損益調整前四半期純利益	2,301	1,236
少数株主利益	137	160
四半期純利益	2,163	1,076
少数株主利益	137	160
少数株主損益調整前四半期純利益	2,301	1,236
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△252	△26
為替換算調整勘定	662	1,221
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	1
その他の包括利益合計	409	1,196
四半期包括利益	2,711	2,432
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,527	2,256
少数株主に係る四半期包括利益	183	175

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）セグメント情報等
Ⅰ 前第１四半期連結累計期間（自平成22年４月１日 至平成22年６月30日）
〔報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報〕

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注1）	調整額（注2）	連結財務諸表計上額（注3）
	合成樹脂成形品事業	ベッド及び家具事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	25,540	3,355	28,896	532	－	29,428
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	0	0	16	△16	－
計	25,540	3,355	28,896	548	△16	29,428
セグメント利益又は損失（△）	3,977	315	4,293	△93	△894	3,305

（注）1.　その他には、新聞及び出版事業等を含んでおります。
2.　セグメント利益又は損失の調整額△894百万円は、全社費用△927百万円及びセグメント間取引消去33百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3.　セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

（参考情報）
〔所在地別セグメント情報〕

	日本（百万円）	アジア（百万円）	北米（百万円）	欧州（百万円）	合計（百万円）	消去又は全社（百万円）	連結（百万円）
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	16,294	8,507	3,104	1,522	29,428	－	29,428
(2) セグメント間の内部売上高	1,116	550	1	0	1,669	(1,669)	－
計	17,410	9,058	3,105	1,523	31,097	(1,669)	29,428
営業利益	2,135	1,542	254	117	4,051	(745)	3,305

（関連情報）
〔地域ごとの売上高情報〕

（単位：百万円）

	日本	韓国	アジア（注2）	アメリカ	北米（注3）	欧州	その他	合計
売上高（注1）	16,179	3,155	5,384	2,608	631	1,449	20	29,428

（注）１.売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。
２.アジアの数値は韓国の売上高を含んでおりません。
３.北米の数値はアメリカの売上高を含んでおりません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自平成23年４月１日 至平成23年６月30日）

〔報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報〕

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注1）	調整額（注2）	連結財務諸表計上額（注3）
	合成樹脂成形品事業	ベッド及び家具事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	22,975	3,432	26,408	572	－	26,980
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	0	0	23	△24	－
計	22,976	3,432	26,408	596	△24	26,980
セグメント利益又は損失（△）	2,979	378	3,358	△56	△916	2,385

（注）1.　その他には、新聞及び出版事業等を含んでおります。

2.　セグメント利益又は損失の調整額△916百万円は、全社費用△947百万円及びセグメント間取引消去31百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3.　セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

（参考情報）

〔所在地別セグメント情報〕

	日本（百万円）	アジア（百万円）	北米（百万円）	欧州（百万円）	合計（百万円）	消去又は全社（百万円）	連結（百万円）
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	12,665	9,136	3,445	1,733	26,980	－	26,980
(2) セグメント間の内部売上高	1,156	671	2	10	1,840	(1,840)	－
計	13,821	9,808	3,447	1,743	28,821	(1,840)	26,980
営業利益	1,077	1,611	321	130	3,141	(755)	2,385

（関連情報）

〔地域ごとの売上高情報〕

（単位：百万円）

	日本	韓国	アジア(注2)	アメリカ	北米(注3)	欧州	その他	合計
売上高(注1)	12,689	3,416	5,612	2,949	636	1,648	28	26,980

（注）１.売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

２.アジアの数値は韓国の売上高を含んでおりません。

３.北米の数値はアメリカの売上高を含んでおりません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。